



やまなみ

山形市立大曾根小学校
学校だより
令和3年7月9日
校長
No.5 太田 千春

村山教育事務所から訪問指導をいただきました

7月6日(火)、村山教育事務所から 田中 克 所長 をはじめ、多数の指導主事をお迎えし、本校の学校経営について御指導をいただきました。当日は、全ての学級において授業を公開し、子供たちの学習の様子や、担任の学習指導の在り方について参観いただきました。

第6学年、安藤枝里教諭の学級は、外国語科「Let's go to Italy」の授業でした。「Hawaii is a nice place. You can see the sea. It's beautiful. I want to swim in the sea.」どんな表現を使って、文をどう組み立てると、おすすめする国や地域のよさや、おすすめの理由が伝わるか考え、伝え合います。コミュニケーションの目的や場面、状況などを明確にした言語活動を通して目指す資質・能力を育成することの大切さを学ぶことができました。今回御指導をいただいた内容を職員間で共有し、改善の方策を具体化してまいります。



ごちそうさまでした！

7月1日(木)、青少年指導委員の佐藤清一郎様から、「子供たちに食べさせてあげたい」と、取れたての“さくらんぼ”を提供いただきました。また、7月5日(月)には、西部果樹組合から“すもも”を頂戴しました。早速、地元の自然の恵みと地域の方の優しさに感謝しながら、給食の時間においしくいただきました。



めざす学校をつくる！

7月1日(木)、代表委員会が開催されました。今年度の児童会スローガン「みんなが仲良くすごせる学校にしよう」の実現に向けて、各委員会や各学級の取組状況の報告をもとに、改善策を話し合いました。「もっとあいさつをがんばりたい」といった一人一人の思いが、今後のどんな活動につながっていくのか楽しみにしています。



地域学校協働活動が展開されています！！

6月22日（水）、今年度第1回のクラブ活動が行われました。今年度のクラブ活動は、コミュニティ・スクールと両輪となる「地域学校協働活動」の一環として、大曽根太鼓クラブと地域民話クラブの2つを立ち上げ、地域の方々の御協力をいただきながら伝統文化・芸能等の学びの場をつくることと致しました。活動初日は、組織づくりを行い、活動のめあてや今後の活動計画などが話し合われました。子供たちからは、「地域に伝わる民話が知りたい」、「伝統を受け継いでいきたい」といった言葉が聞かれ、これから展開される活動がますます楽しみになりました。

クラブ活動の実施にあたっては、土屋徹子さん（和太鼓）、大宮洋子さん（地域民話）から御指導いただきます。また、学校運営協議会の委員の皆様からも全面的な御協力をいただき、とても心強く感じております。今後も、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行っていけるよう努めてまいります。



大曽根太鼓クラブ



地域民話クラブ

大曽根味噌の仕込み完了

6月20日（月）から3日間、大曽根小サポート委員の新関徳次郎さんからお越しいただき、4・5年生が味噌づくりを教わりました。今年は、蒸したお米にこうじ菌を種付けし、繁殖・発酵させるところから挑戦したので、3日がかりの仕込み作業でした。うまく米こうじができるか心配していた子供たちでしたが、無事成功！米こうじに塩をまぶし、つぶした大豆と混ぜ合わせる作業は、昨年教わったことを思い出しながら手際よく進めることができました。



読み聞かせ活動開始

今年度の読み聞かせ活動は、11名の地域・保護者の皆様から御協力をいただき、15回実施されます。加えて、ビックリ座の方々からも2回のパネルシアターを上演いただけることになりました。6月30日（水）、第1回目の読み聞かせが行われました。2年生は「ことわざのえほん」。読み手はおおそねケアセンターの山川淳司施設長です。大型絵本と軽妙な語り口調に子供たちも引き込まれていきます、子供も読み手も楽しい時間を過ごすことができました。

